



第72回日本助産師学会(宮城県仙台市)

●市民公開講座

“映画上映”と“川島教授のお話”

■会場:仙台国際センター(大ホール)

〒980-085 仙台市青葉区青葉山無番地 電話:022-265-2211
地下鉄東西線「国際センター駅」下車

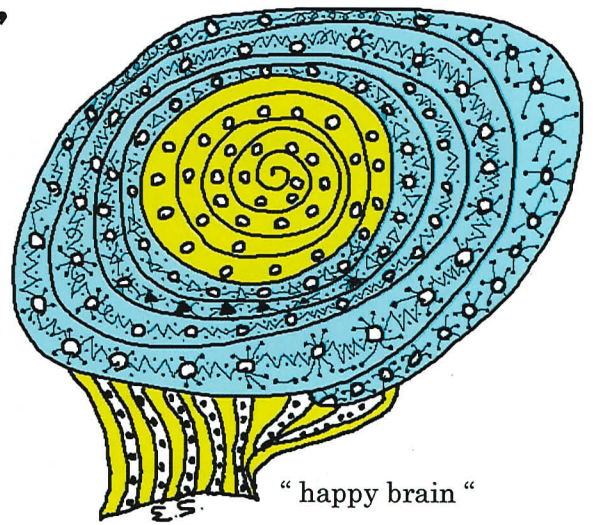
■日程:2016年5月28日(土)

13時30分～16時40分

受付12:30～(大ホール前)

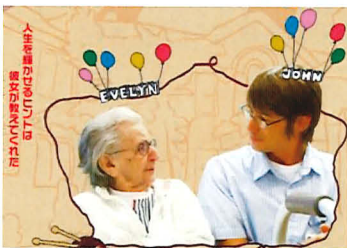
■対象:一般 (申込不要。直接受付にお越しください)

■参加費:千円 (当日受付時に上映料としていただきます)



●13:30～15:00

映画上映



●僕がジョンと呼ばれるまで

<http://www.bokujohn.jp/>

監督:風間直美/太田茂、製作:仙台放送

この映画は、川島隆太教授が考案した認知症改善のための学習療法、いわゆる「脳トレ」をアメリカの高齢者介護施設で取り入れたドキュメンタリー映画です。

この映画を通して、認知症は進行を食い止められる、回復できる可能性がある、希望があるということをご自身の目でぜひお確かめ下さい。認知症を理解し、認知症と隣り合い、向き合いながら、私たちもスマート・エイジングを目指し、社会に広げていきましょう!

この映画は海外で様々な映画賞を受賞しています。

●15:10～16:40

講演会



●脳科学から見た

優しい子育てとスマート・エイジング

川島隆太氏(東北大学加齢医学研究所教授)

第72回日本助産師学会のテーマは「ありがとう 繋がるいのち、見守るいのち ～超少子高齢社会における助産師の役割～」です。川島教授から、高齢者のみならず、子育てについても脳科学の側面から大切なお話が伺えます。認知症、子育て・・・あらゆる年代の皆様、超少子高齢社会を生き生きと楽しむための知恵を一緒に学びましょう。

●主催:公益社団法人 日本助産師会 <http://www.midwife.or.jp/>

●後援:宮城県, 仙台市, 公益社団法人宮城県医師会, 一般社団法人仙台市医師会,
宮城県産婦人科医会, 公益社団法人宮城県看護協会, 東北大学東北メディカル・メガバンク機構

●問合せ先:一般社団法人 宮城県助産師会 (実行委員長:塩野悦子)

〒982-0817 仙台市太白区羽黒台 21-25, メール: miyagigakkai@dp10201611.lolipop.jp →



僕がジョンと呼ばれるまで



アメリカの介護施設で行われた おばあちゃんたちの“チャレンジ” それは みんなが笑顔になる 希望の挑戦

老いること、それは誰も避けることのできない人生の季節。
肩の荷を下ろすように、少しずつ過去のことを忘れていくのは自然なことです。
しかし、たとえば認知症。いまだに根本的な治療法はなく、突然のことに本人も家族も戸惑います。
私たちは、この難しい病とどうつき合っていけば良いのでしょうか？ どうしたら人生の最後の季節を自分らしく生きることが出来るのでしょうか？

平均年齢 80 歳以上のアメリカ・オハイオ州にある高齢者介護施設。ここに暮らす多くの方が認知症です。スタッフのジョンは施設で暮らすおじいちゃんおばあちゃんに毎日たずねます。「僕の名前を知っていますか？」でも、答えはいつも「いいえ」。何度名前を伝えても覚えていません。そんな彼女たちが挑戦したある取り組みが、彼女たちの毎日を変えていきます。それはスタッフと一緒に、読み書きや簡単な計算などを行うことで認知症の改善を目指すというもの。

エブリン(93 歳)は認知症と診断されて2年。自分の名前も書けず、ジョンとの会話も噛み合いませんでした。しかし彼女にも大きな変化が表れます。趣味の編み物を再びはじめ、笑顔でジョンに話しかけるようになりました。そして、かつてお得意だった辛辣なジョークまで復活したのです。
彼女たちは仲間と一緒に学ぶことで、大切なものを思い出していきます。そしてそのことは、ジョンやスタッフ、そして家族をも笑顔に変えました。この物語に登場する人たちの笑顔が、私たち誰もが抱える不安を希望に変えるヒントになるはずです。



監督: 風間直美/太田茂、製作: 仙台放送

<http://www.bokujohn.jp/>
「僕がジョンと呼ばれるまで」公式ホームページより抜粋

- この映画は、川島隆太教授の「脳トレ」をアメリカの高齢者介護施設で取り入れたドキュメンタリー映画です。この映画を通して、認知症は進行を食い止められる、回復できる可能性がある、希望があるということをご自身の目でぜひお確かめ下さい。
- 認知症を理解し、認知症と隣り合い、向き合いながら、スマート・エイジングを目指し、社会に広げていきましょう！
- どうぞご家族など、お誘いあわせの上、ご来場下さい。

